

広仁会賞 第24回 尾形 徹

題名：The lifetime prevalence of abdominal aortic aneurysms among siblings of aneurysm patients is eightfold higher than among siblings of spouses: An analysis of 187 aneurysm families in Nova Scotia, Canada

(腹部大動脈瘤患者の同胞の同疾患の罹患率は配偶者の同胞よりも8倍高い：カナダ、ノヴァ・スコティア州における大動脈瘤患者187家族の分析)

要旨：

背景：腹部大動脈瘤（以下 AAA）はしばしば家族性である。本論文の目的は、腹部大動脈瘤患者の同胞の同疾患の罹患率を配偶者の同胞の罹患率と比較検討することである。

方法：カナダ、ノヴァ・スコティア州在住の375人の AAA 患者の、同胞と配偶者の同胞を対象とし超音波エコーにて AAA の有無をスクリーニングした。

結果：超音波エコーは309人に行われた。その結果は、11.2%（11/98）の AAA 患者の兄弟、2.7%（4/147）の姉妹が AAA を有し、配偶者の同胞には AAA を有するものは認めなかった（0%、0/64）。既往歴にて AAA と診断されている同胞を加えると29.0%（44/152）の AAA 患者の兄弟、11.1%（20/181）の姉妹、2.3%（2/88）の配偶者の同胞が AAA に罹患していた。

考察：超音波エコーで発見した AAA 患者の同胞の AAA の罹患率（6.1%、15/245）と配偶者の同胞の AAA の罹患率（0%、0/64）の間に有意差を認めた（ $p=0.043$ ）。AAA と診断されている例を加えた比較においても有意差を認め（ $p<0.001$ ）、頻度に8倍の差を認めた（AAA 同胞：19.2%、64/333；配偶者同胞：2.3%、2/88）。この結果はこれまで報告されている AAA 患者の同胞の高頻度の AAA 罹患率を裏付け、AAA 患者の同胞に対する超音波スクリーニングの重要性を強調するものである。